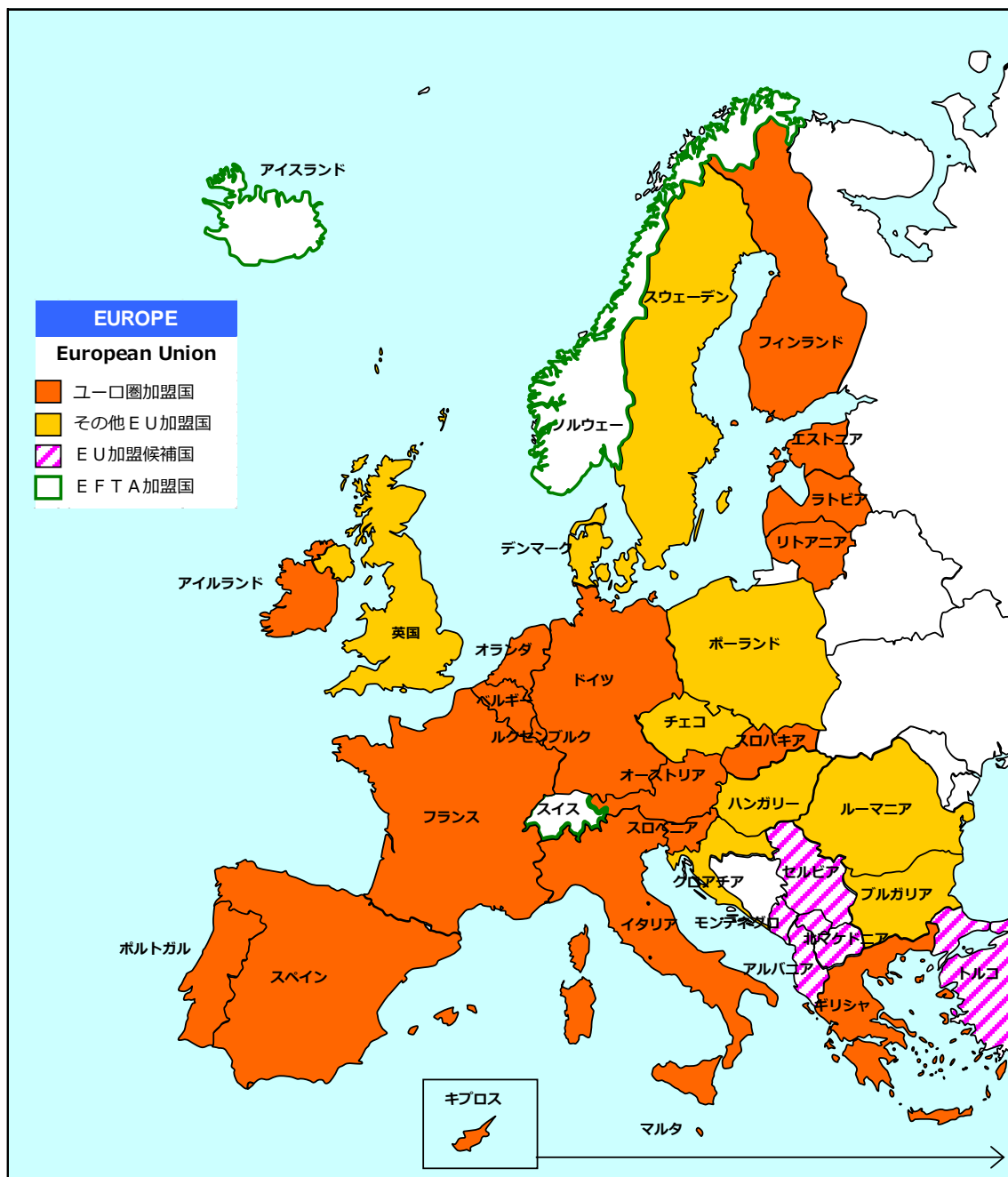


2019年2月25日 全13頁

# 欧州経済アップデート (2019.2)

経済調査部  
研究員 矢澤 朋子

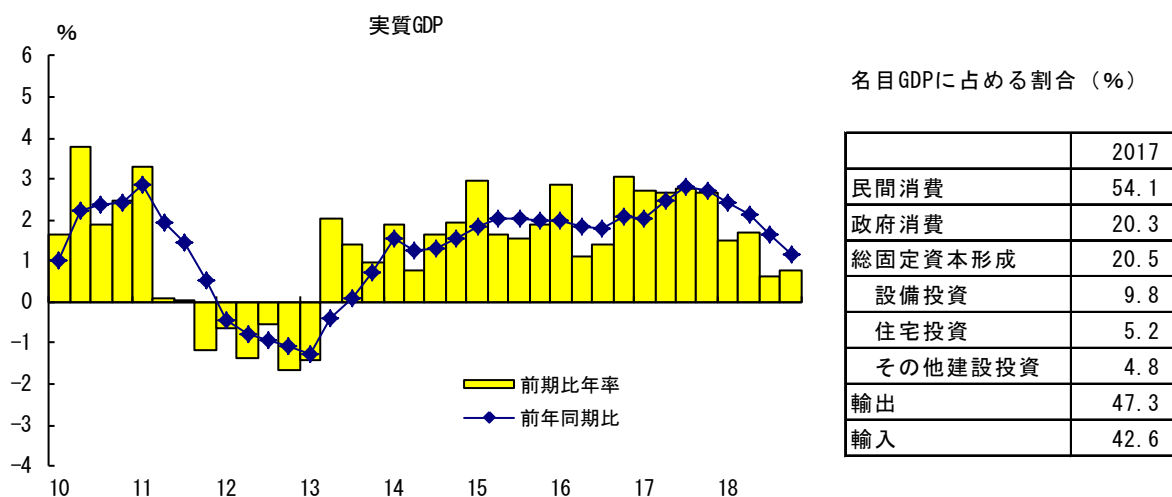


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

## ユーロ圏 GDP

- 18年通年の実質GDP成長率（速報値）は前年比+1.8%となり、17年の同+2.4%から減速した
- 18年Q4は前期比+0.2%とQ3に続いて低成長。17年Q1~Q4の平均伸び率は+0.7%、18年Q1~Q2は同+0.4%となっており、18年後半にかけて一段と伸びが鈍化した
- Q4の需要項目別の詳細は、3月7日に発表予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.7	0.3	0.4	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.2	0.2
個人消費	0.6	0.3	0.3	0.6	0.4	0.5	0.5	0.2	0.5	0.2	0.1	-
政府消費	0.8	0.2	0.2	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.0	0.4	0.3	-
総固定資本形成	0.7	1.2	0.6	1.6	-0.7	2.1	-0.1	1.3	0.1	1.6	0.7	-
設備投資	0.6	2.0	0.1	2.0	-2.4	3.3	-1.8	2.4	-0.3	1.8	1.2	-
住宅投資	1.6	1.3	1.6	1.3	1.0	1.4	0.9	1.2	0.8	0.9	0.7	-
その他建設投資	0.1	-0.9	0.9	1.1	1.2	-0.0	3.0	-1.1	0.4	1.8	-0.4	-
輸出	0.6	1.2	0.4	1.5	1.8	1.0	1.3	2.2	-0.7	1.2	0.1	-
輸入	0.7	1.1	0.5	2.0	0.4	1.3	0.2	1.8	-0.6	1.3	1.0	-

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

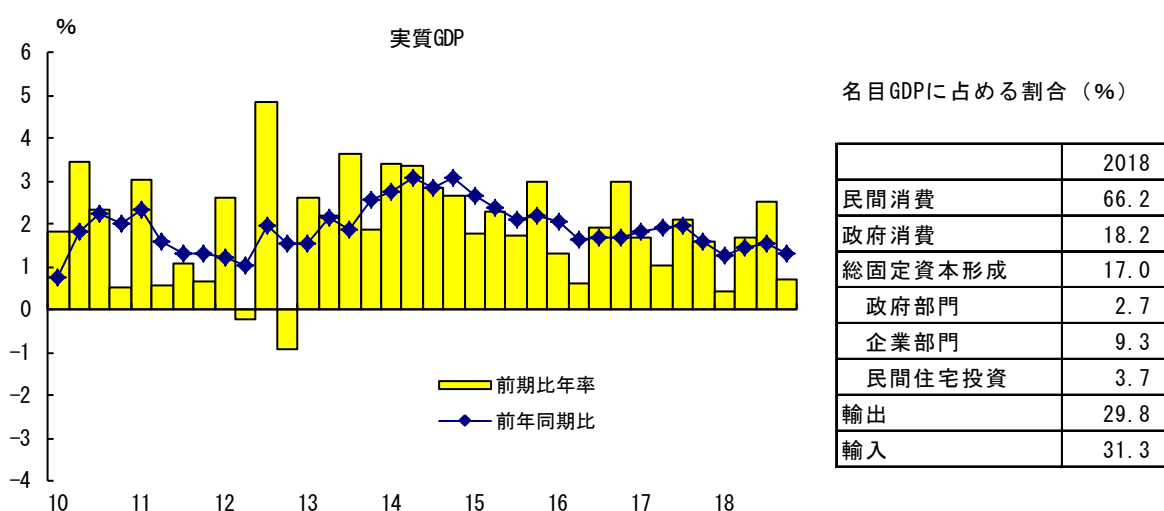
	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.7	0.3	0.4	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.2	0.2
個人消費	0.3	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	-
政府消費	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	-
総固定資本形成	0.2	0.2	0.1	0.3	-0.2	0.4	-0.0	0.3	0.0	0.3	0.2	-
設備投資	0.1	0.2	0.0	0.2	-0.3	0.4	-0.2	0.3	-0.0	0.2	0.1	-
住宅投資	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	-
その他建設投資	0.0	-0.0	0.0	0.1	0.1	-0.0	0.1	-0.1	0.0	0.1	-0.0	-
在庫変動	0.0	-0.2	0.1	0.2	-0.1	-0.0	-0.2	-0.1	0.2	-0.1	0.3	-
輸出	0.3	0.5	0.2	0.7	0.8	0.5	0.6	1.1	-0.3	0.6	0.1	-
輸入	-0.3	-0.5	-0.2	-0.9	-0.2	-0.6	-0.1	-0.8	0.3	-0.6	-0.4	-
純輸出	-0.0	0.0	-0.1	-0.2	0.7	-0.1	0.5	0.3	-0.1	-0.0	-0.4	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

\* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり  
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

## 英国 GDP

- 18年Q4の実質GDP成長率（1次発表）は前期比+0.2%に減速。在庫、純輸出、総固定資本形成が揃ってマイナス寄与に転じた
- 一方、個人消費はQ3と同水準の伸びを維持。政府消費は前期比+1.4%と12年Q1以来の大幅な成長を記録した
- 18年通年では前年比+1.4%と09年のマイナス成長以来の低水準を記録。純輸出がマイナス寄与となったのに加え、総固定資本形成の寄与がゼロとなったことが主要因



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.5	0.4	0.1	0.4	0.6	0.2
個人消費	1.1	0.8	1.1	0.0	0.7	0.4	0.5	0.3	0.4	0.6	0.4	0.4
政府消費	0.4	-0.1	0.0	0.0	-0.6	0.5	0.1	0.0	0.1	-0.4	-0.3	1.4
総固定資本形成	-0.0	1.6	1.5	-0.6	1.0	1.9	0.3	0.7	-0.6	-0.9	0.6	-0.5
政府部門	-1.2	8.4	2.5	-4.6	-0.4	7.5	-1.9	-0.3	-1.5	-2.4	6.0	1.3
企業部門	-1.7	0.9	1.5	-1.0	-0.2	1.3	0.9	0.4	-0.6	-0.5	-1.2	-1.4
民間住宅投資	3.2	1.1	1.9	1.6	4.7	-0.3	1.2	4.9	1.6	2.2	0.6	-1.1
輸出	-0.9	0.9	-3.2	6.6	0.2	1.2	1.9	0.1	0.0	-2.0	0.2	0.9
輸入	-0.4	0.6	3.1	0.2	0.9	0.9	0.6	-0.6	0.3	0.1	-0.0	1.3

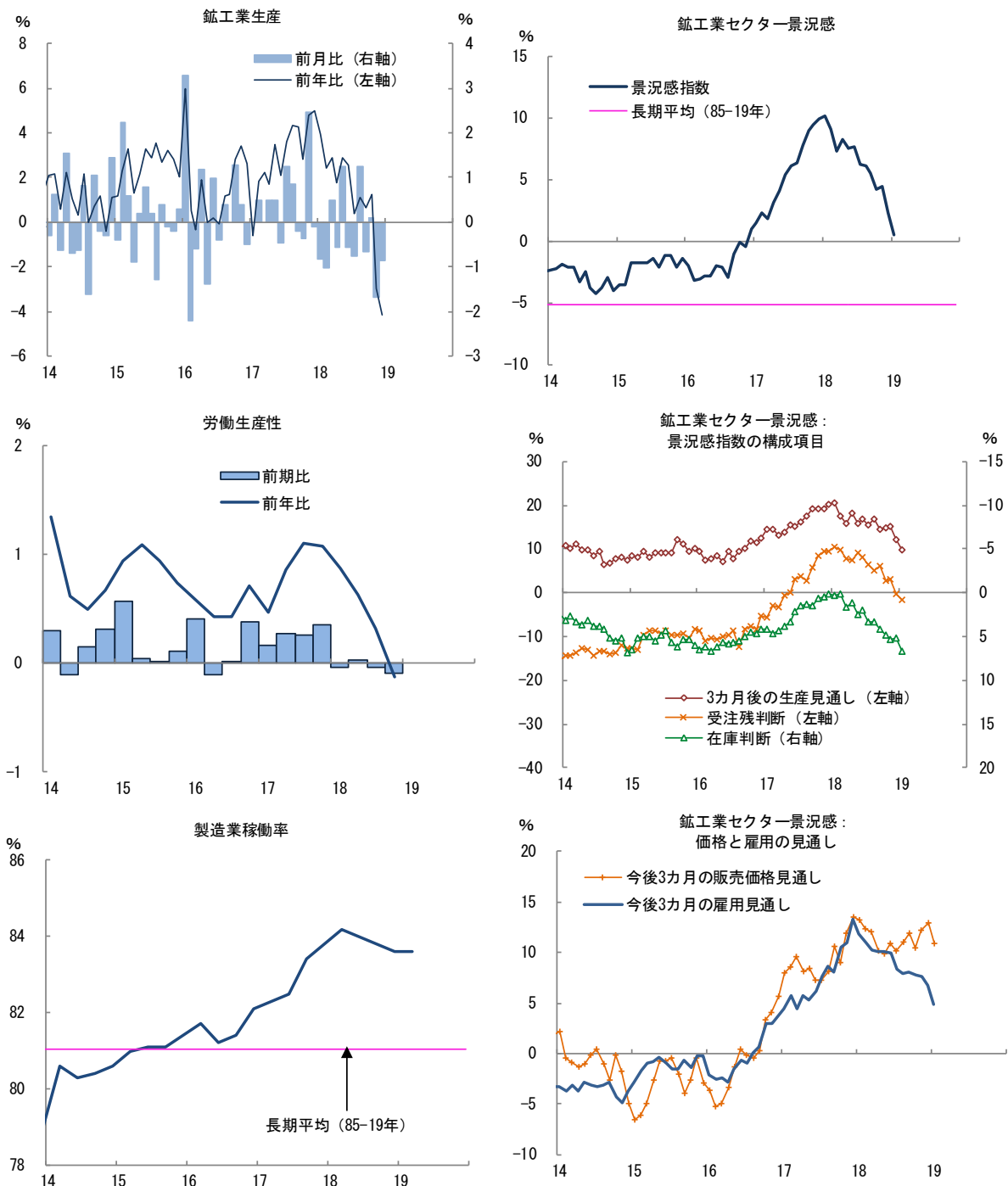
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.5	0.4	0.1	0.4	0.6	0.2
個人消費	0.7	0.5	0.7	0.0	0.5	0.2	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3
政府消費	0.1	-0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.1	0.3
総固定資本形成	-0.0	0.3	0.2	-0.1	0.2	0.3	0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.1
政府部門	-0.0	0.2	0.1	-0.1	-0.0	0.2	-0.1	-0.0	-0.0	-0.1	0.2	0.0
企業部門	-0.2	0.1	0.1	-0.1	-0.0	0.1	0.1	0.0	-0.1	-0.0	-0.1	-0.1
民間住宅投資	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	-0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	-0.0
在庫変動	0.2	-0.6	1.0	-0.1	-0.4	-0.4	-0.2	-0.1	-0.1	0.8	0.3	-0.2
輸出	-0.3	0.3	-0.9	1.8	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0	-0.6	0.1	0.3
輸入	0.1	-0.2	-0.9	-0.0	-0.3	-0.3	-0.2	0.2	-0.1	-0.0	0.0	-0.4
純輸出	-0.1	0.1	-1.8	1.8	-0.2	0.1	0.4	0.2	-0.1	-0.6	0.1	-0.1

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 生産

- 12月の鉱工業生産は主にPC・電機・光学機器生産の大幅な減少により前年比-4.2%と09年11月以来の減少幅を記録。Q4でも前年割れとなり、年後半の落ち込みが顕著となった
- Q4の労働生産性は前期比、前年比共に-0.1%。前年比では13年Q1以来の前年割れとなった。ただし、製造業稼働率は19年1月に83.6%と高水準で推移
- 1月の鉱工業セクター景況感指数は前月比で悪化。すべての構成項目が悪化した。さらに、販売価格見通しも悪化に転じ、雇用見通しは大幅に悪化した

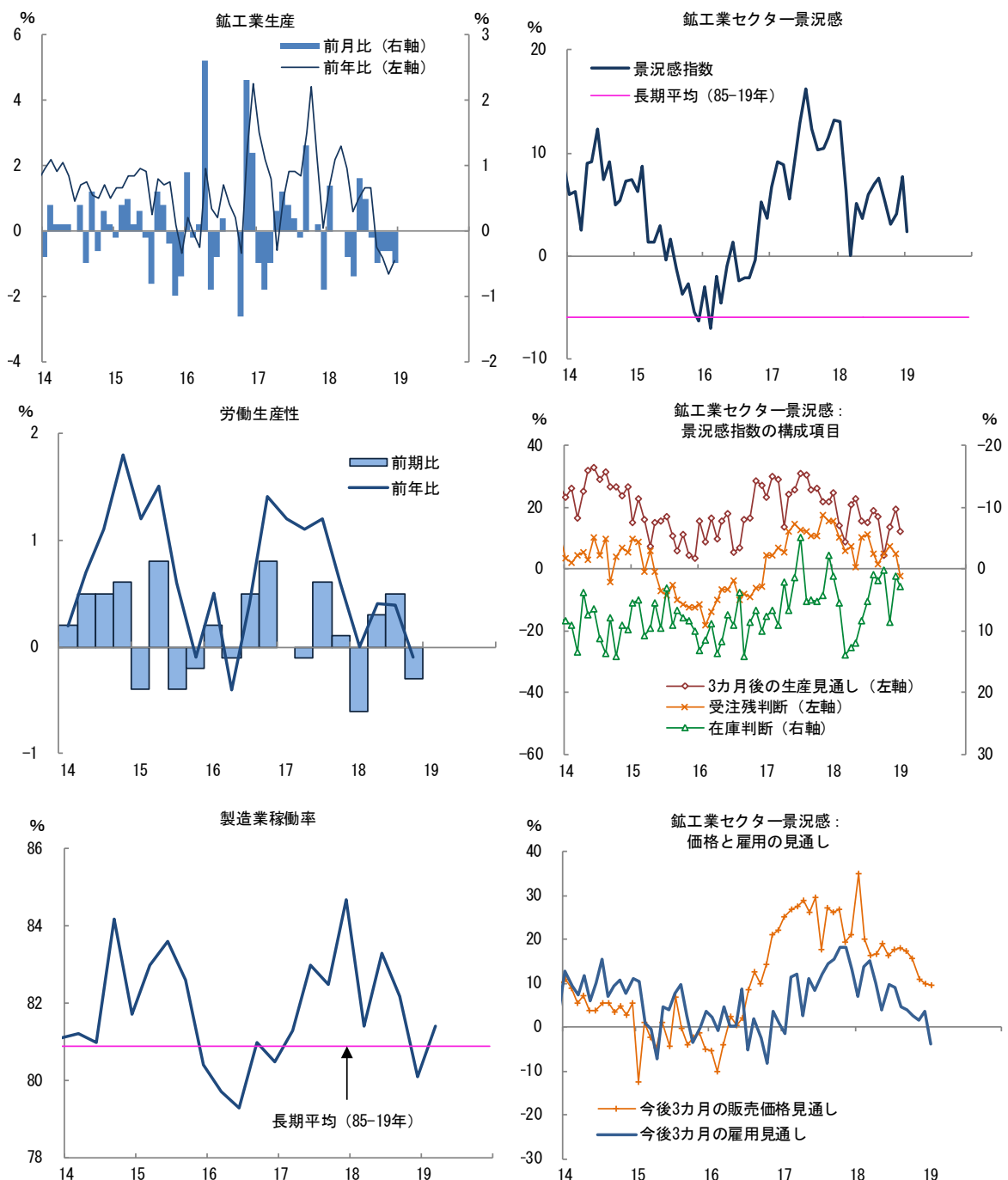


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

## 英国 生産

- 12月の鉱工業生産は前年比 $-0.9\%$ と4カ月連続の前年割れ。輸送用機器及びベースメタル・金属製品生産の不振が主要因。18年通年では同 $+0.7\%$ と17年の同 $+1.8\%$ から減速
- Q4の労働生産性は前期比 $-0.3\%$ 、前年比 $-0.1\%$ と共にマイナス圏に落ち込んだ。一方、19年1月の製造業稼働率は $81.4\%$ と長期平均を上回る水準まで回復
- 1月の鉱工業セクター景況感は前月比で悪化に転じた。すべての構成項目が悪化。加えて、雇用見通しは16年10月以来の低水準まで悪化した

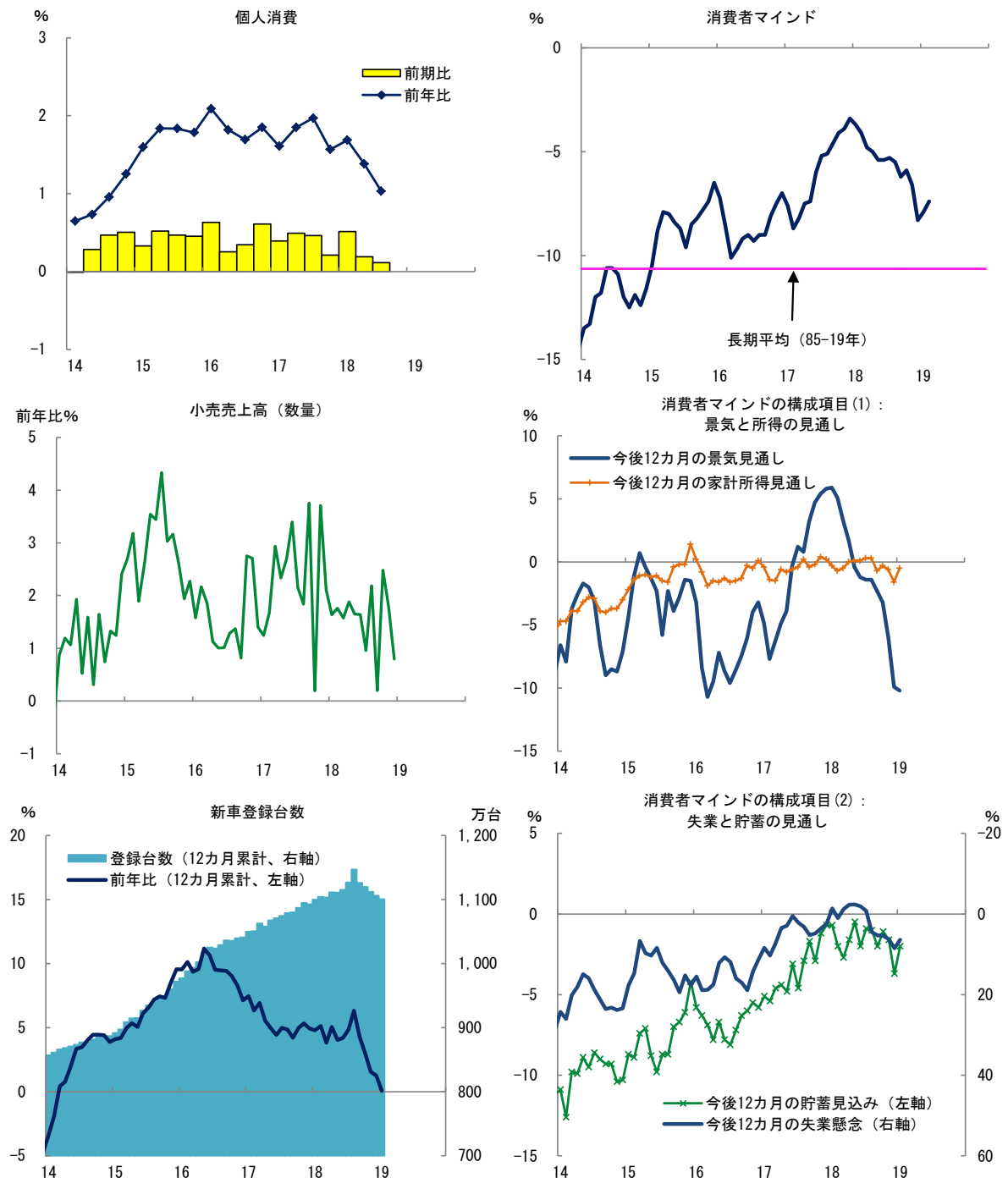


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 消費

- 18年通年の小売売上高（数量）は前年比+1.5%に減速（17年同+2.3%）。12月は衣類・履物売上の不振に加え、PC・ソフト・通信機器売上の減速により同+0.8%に伸びが縮小
- 1月の新車登録台数は前年比-5.6%と減少幅は縮小したもの、5カ月連続の前年割れ。12カ月累計では同+0.1%と14年2月以来の低水準の伸びとなった
- 2月の消費者マインド（速報）は2カ月連続の前月比改善となった

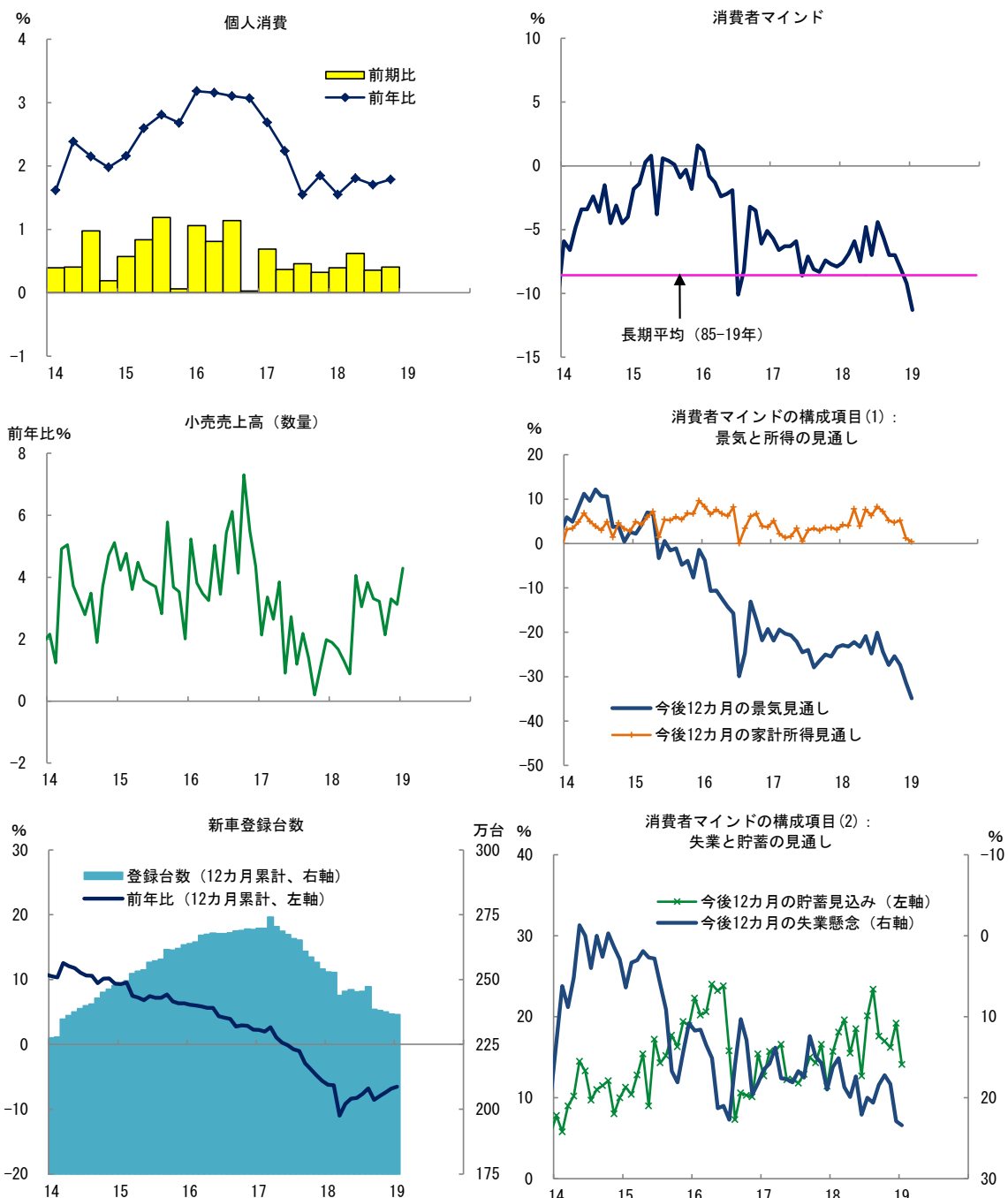


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## 英国 消費

- 1月の小売売上高（数量）は前年比+4.2%と16年12月以来の高い伸び。食品及び無店舗売上の伸びが拡大した。加えて、平均店頭価格の低下も小売売上高の加速に貢献した
- 1月の新車登録台数は単月で前年比-1.6%、12カ月累計で同-6.5%。どちらもマイナス幅は縮小している
- 1月の消費者マインドは、13年11月以来の水準まで大幅に悪化した。すべての構成項目が悪化した。中でも景気見通し及び貯蓄見込みの落ち込みが目立つ

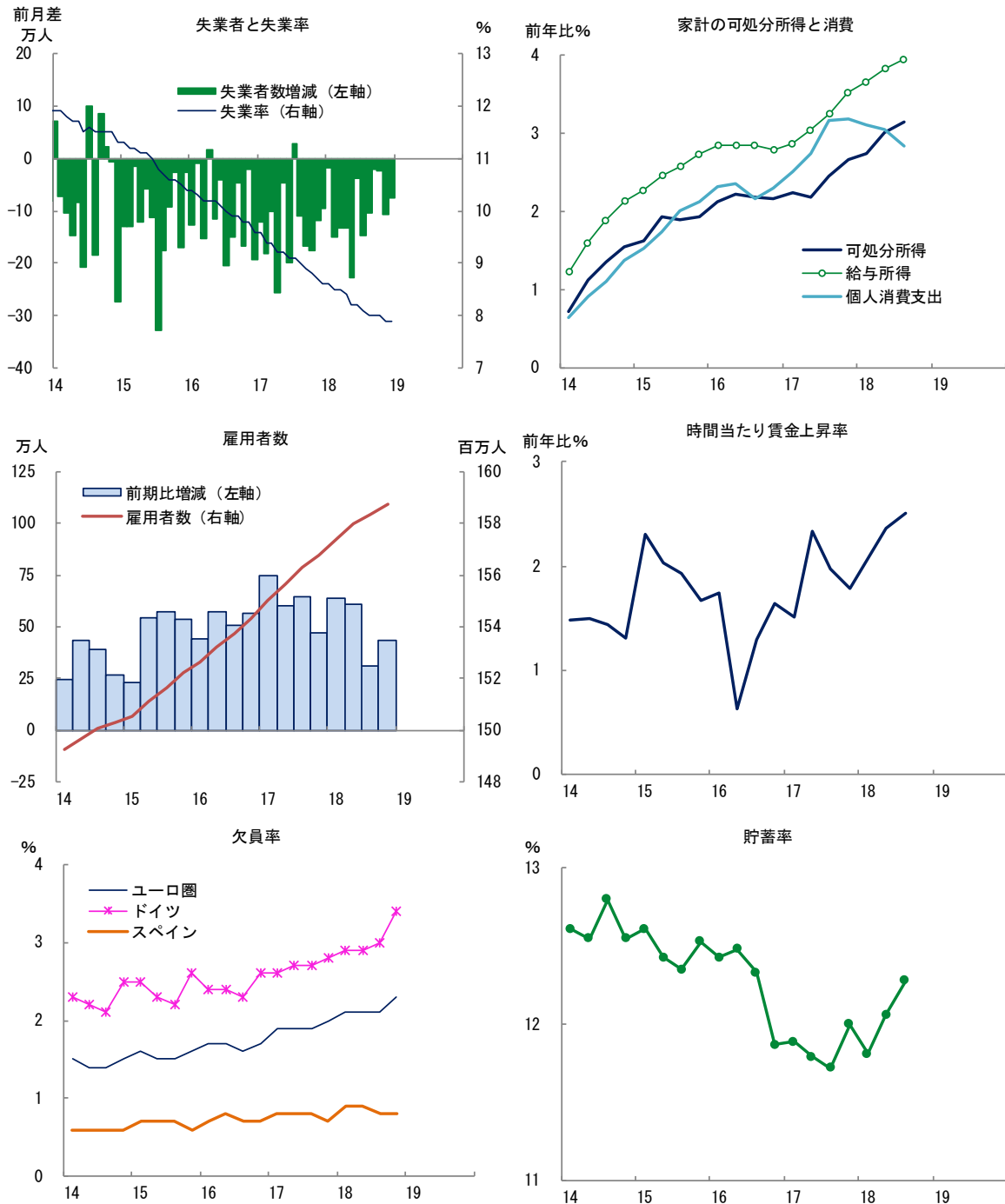


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## ユーロ圏 雇用・所得

- 12月の失業率は7.9%と08年10月に並ぶ低水準。失業者数も09年1月以来の低水準を更新している
- 雇用者数は18年通年、Q4共に95年の統計開始以来の最高を更新。Q4を前期比で見ると、3四半期ぶりに増加幅が拡大した
- Q4の欠員率はユーロ圏で2.3%と04年Q1の統計開始以来の高水準。サービス業が大きく上昇した。ドイツで統計開始以来の高水準を記録する一方、スペインは0.8%と変化なし



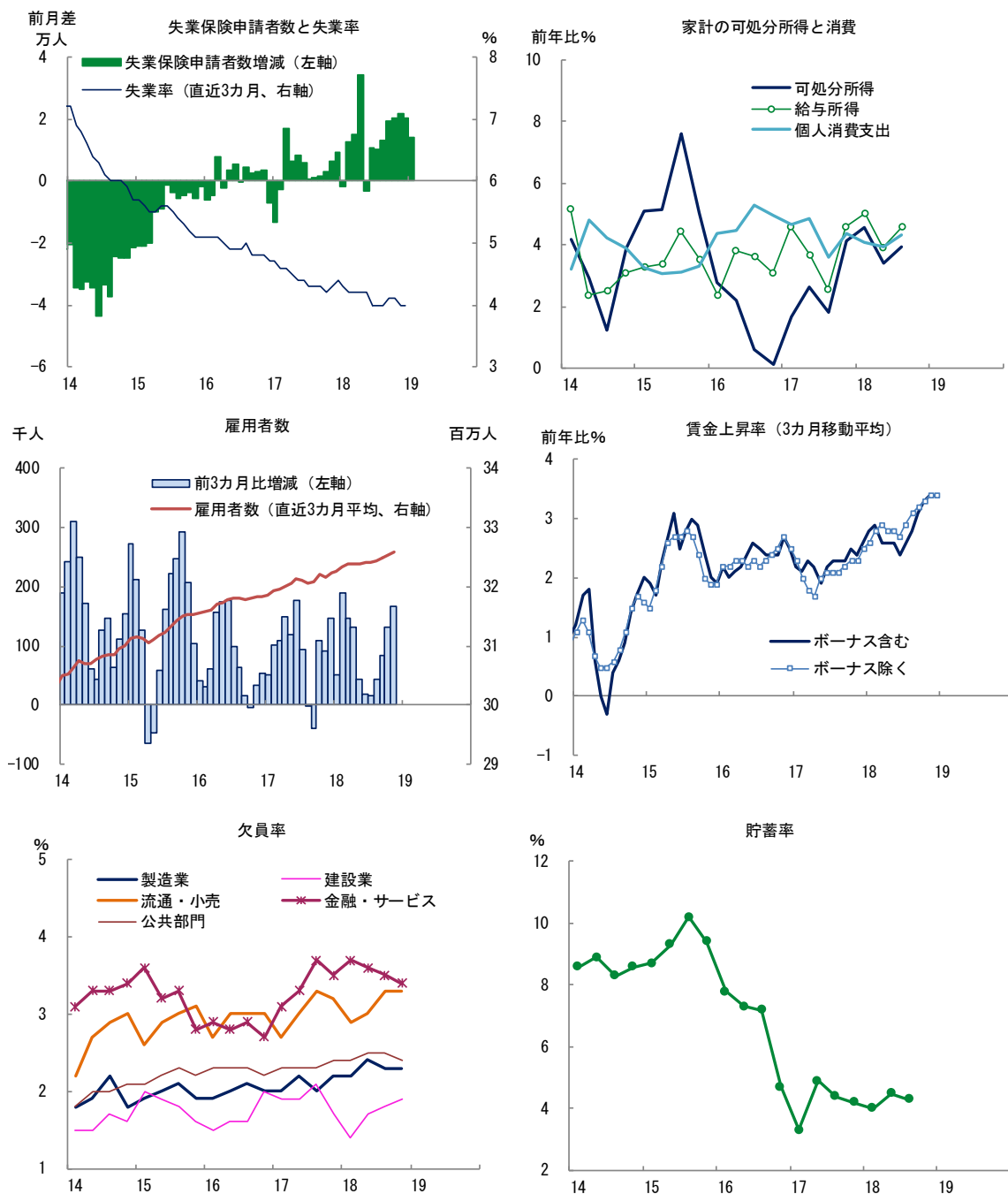
注：欠員率 (Job Vacancy Rate) =  $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成



## 英国 雇用・所得

- 10-12月平均の失業率は4.0%となり、75年1-3月平均に並ぶ低水準。雇用者数は71年2月の統計開始以来の最高を更新した
- 10-12月平均のボーナスを含む賃金上昇率は前年比+3.4%と9-11月平均と変わらず。製造業及び卸売・小売・宿泊・外食の賃金はやや減速する一方、建設業は加速した
- 18年Q4の欠員率は、建設業で3四半期連続の上昇となった。金融・サービスでは緩やかな低下が続くものの、高水準を維持

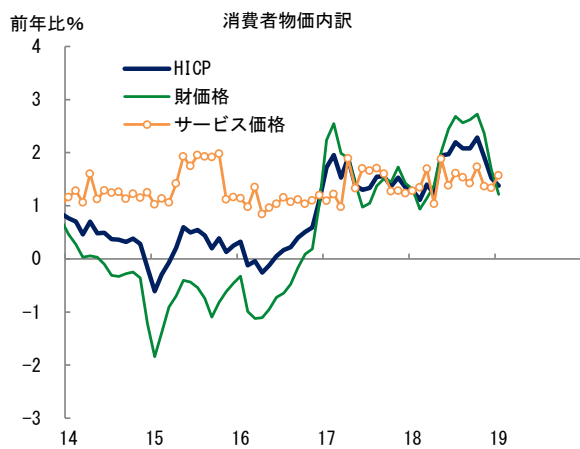
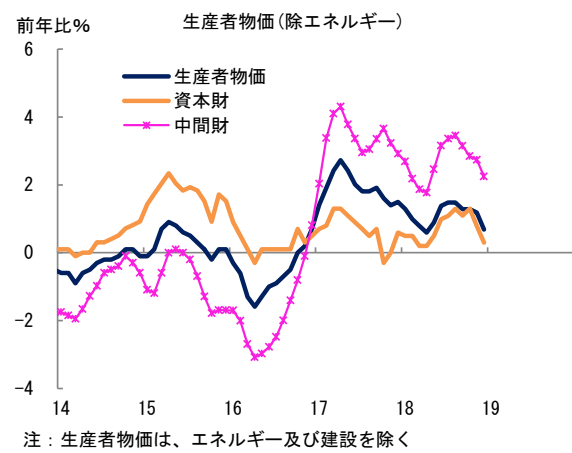
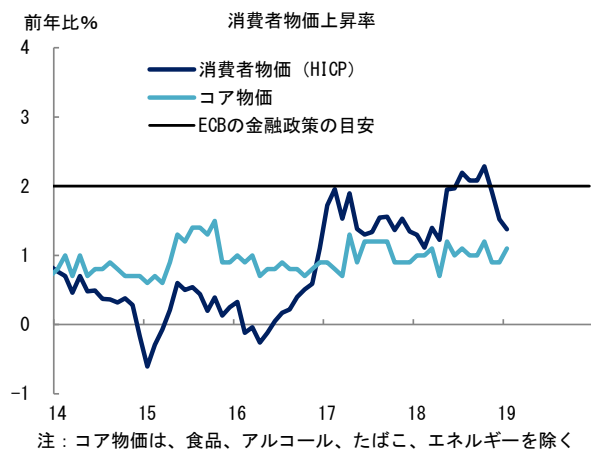


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 物価

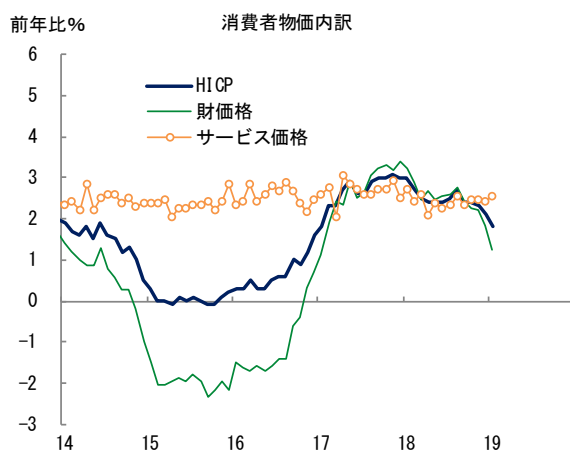
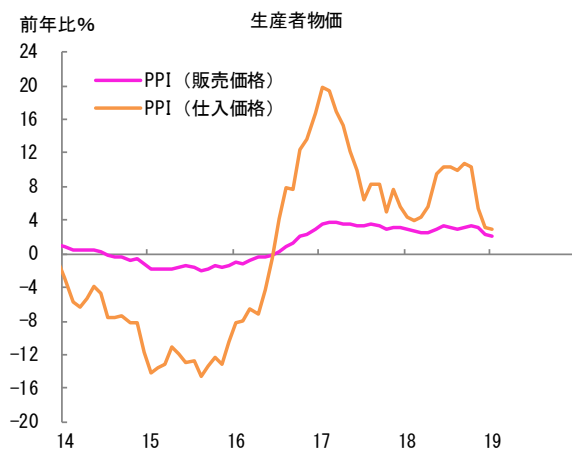
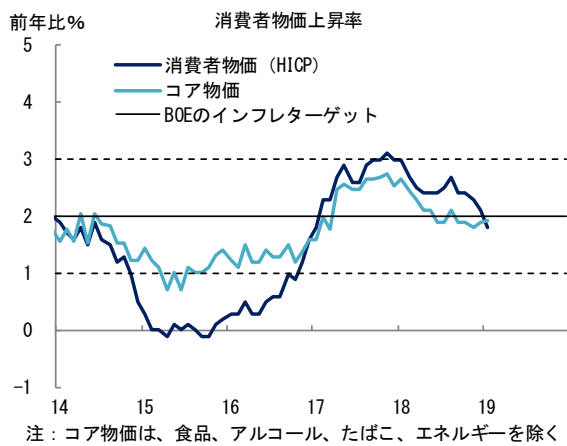
- 1月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.4%に減速。サービス価格は加速に転じたが、エネルギー価格の伸び減速の影響がより大きかった。コア物価上昇率は同+1.1%に加速
- 12月の生産者物価上昇率は前年比+0.7%に減速。石油・石油精製品価格の大幅な減速が続いたのに加え、PC・電機・光学機器価格が下落に転じた
- 11月の輸入物価は前年比+6.4%と2カ月連続で減速した。原油価格急落によって鉱物燃料等の価格の伸びが縮小し、輸入物価を押し下げた



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

## 英国 物価

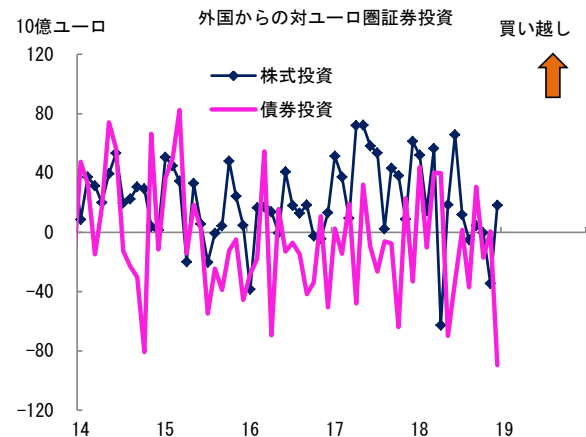
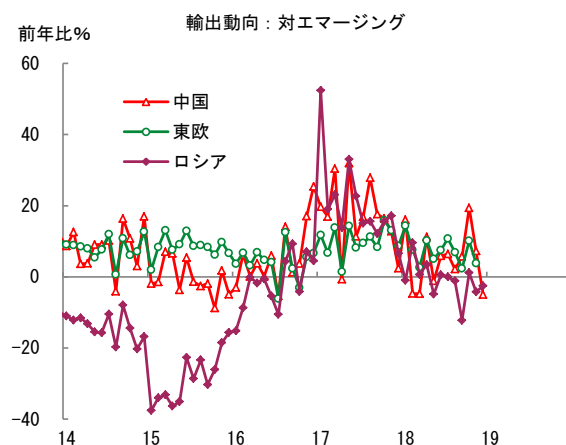
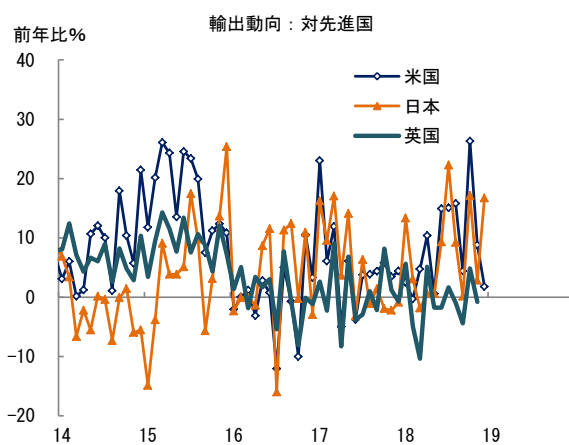
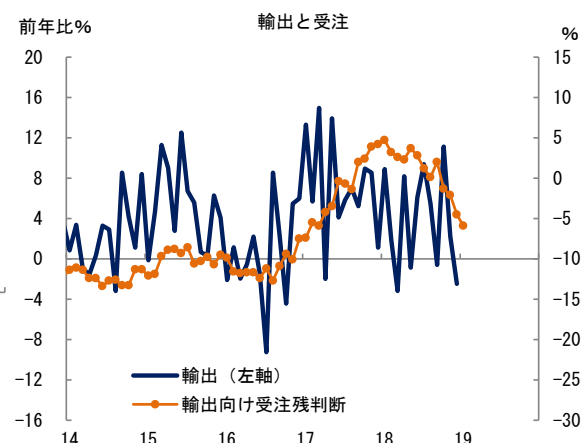
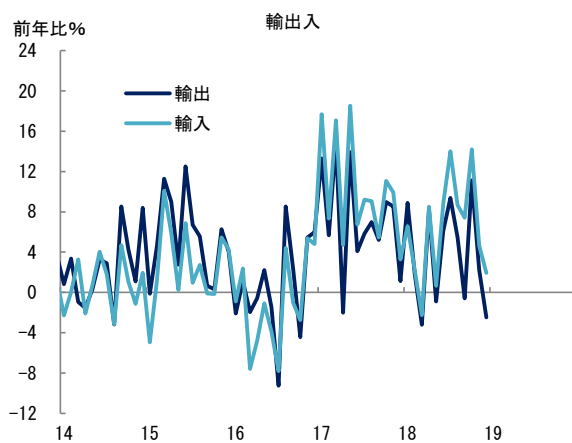
- 1月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.8%とターゲットを下回る水準まで減速。政府の電気・ガス市場規制機関によるエネルギー価格上限設定により押し下げられた
- 1月の生産者物価のうち、仕入価格は前年比+2.9%に減速。原油等の価格の減少幅が拡大した。販売価格も同+2.1%と減速が続く
- 12月の輸入財デフレーターは前年比+2.6%と3カ月連続の減速。石油（原油及び石油製品）価格は前年割れ、石油以外の燃料価格は大幅な減速となった



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 国際収支

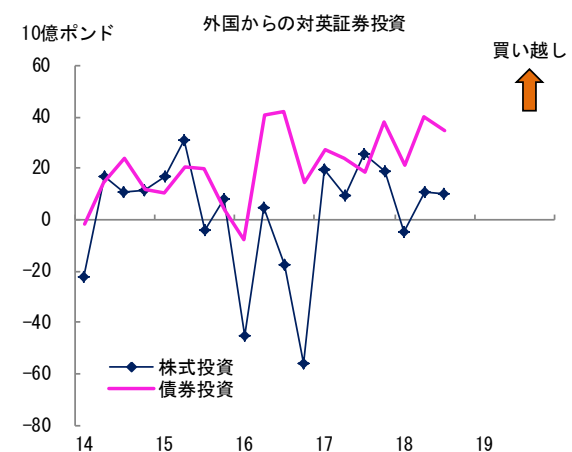
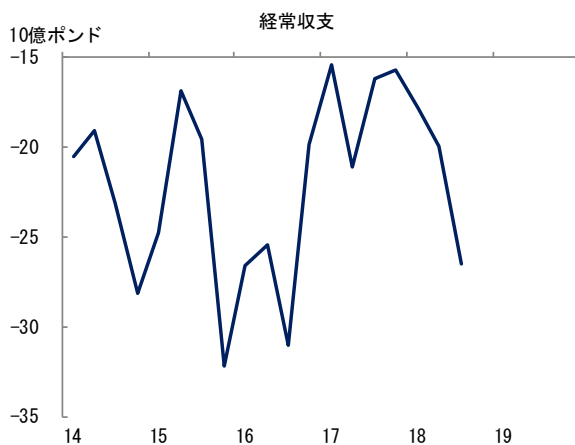
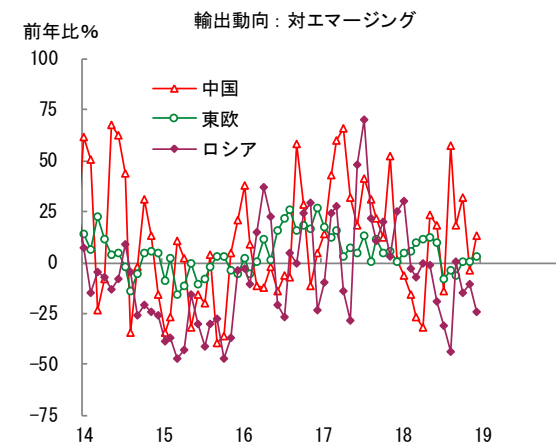
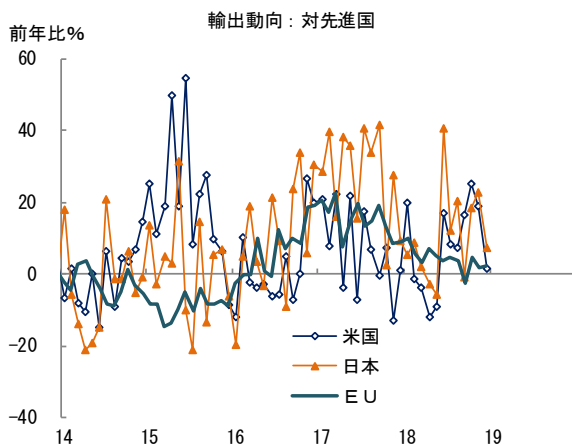
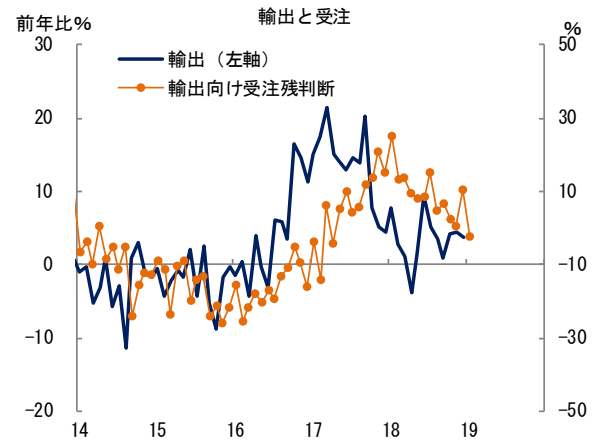
- 18年通年で輸出は前年比+3.7%、輸入は同+6.2%と大幅な減速。12月は輸出が同-2.5%と前年割れ、輸入は同+1.9%に減速。年間を通し、輸出入共に工業製品が伸び悩んだ
- 18年通年の経常収支の黒字幅は11年以来の前年比減少に転じた。サービス収支黒字は統計開始以来の最高となるも、財貿易収支黒字がそれを上回るペースで縮小した
- 12月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、債券投資は99年1月の統計開始以来の大幅な売り越しを記録。一方、株式投資は売り越しから買い越しに転じた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

## 英国 国際収支

- 18年通年の輸出は前年比+3.3%（17年+13.3%）、輸入は同+2.7%（同+10.2%）と大きく減速。輸出入共に化学製品が減少に転じた
- ただし、四半期で見ると、輸出入共に年後半にかけて前年比で加速している
- 輸出相手国別では、12月は米国及び日本向けが前年比で大きく減速。一方、エマージング向けでは、中国向けは反発し、東欧向けも加速した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成